授業科目名 (ナンバリングコード)	競技スポーツ論・実習Ⅰ-自転車競技 (141A1-5280)	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)				
担当教員名	未 定			補助担当者名					
単位数	4 単位	履修年次	1年次	受け入れ人数	8名程度				
授業の概要	自転車競技に関する基本的な知識を会得し、競技に対する理解を深める。 自転車競技に関連する分野を網羅し体系的に学ぶことで、この授業を終えた時点で、競技力向上に必要な基本的行動を自分の力だけで行えるようになるための基礎的能力を身につける。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技指導力、指導者基礎力、キャリアデザイン力、一般教養・倫理 (コミュニケーション力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	各講義のテーマが自転車競技に及ぼす影響を関連づけて理解できる。	○	○	○	○			40
■情意的領域	講義・実習(実技)ともに関心を持って意欲的に学び、自転車競技の素晴らしさを簡単な言葉で説明できる。	○	○					20	
■技能的領域	実習(実技)で学んだことを自からの競技活動に生かすと同時に、安全面と楽しさを重視した内容のトレーニング方法を、自分の活動に生かすことができる。	○	○					40	
成績評価の基準	授業の進行に伴い内容を理解したうえで、初歩的な競技者として理解したことを生かせる能力が備わっているかを授業時間毎に確認し評価する。実技については、関連する課外活動(自転車競技)での競技成績も評価対象に加える。								
テキスト、教材 参 考 書	授業時間毎に必要なに応じて資料を配付する。 講義用にJ C F日本自転車競技連盟競技規則集を各自準備すること。 実技用に良く整備されたロードレーサー、トラックレーサー、J C F公認ヘルメット、シューズ等の競技用具一式を各自準備すること。								
履修条件・ 関連科目	特に無し	備考(教員メッセージ含む)	高校時代に自転車競技の選手・スタッフとしての基本的な経験を有し、同競技に深い興味を持ちながら将来も引き続き関わりたいと考える学生を歓迎する。						
オフィス・アワー	毎週月曜日午後、604研究室								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	黒川 剛	講義：プロローグ「自転車競技との出会いを発表し素晴らしさを知る」		予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)					
2	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎①		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
3	〃	講義：競技力向上の会「他競技から学ぶ」		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(15分)					
4	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎②		復習：授業内容についてレポートを作成し提出する。(70分)					
5	〃	講義：自転車競技の安全管理と応急処置を知る。		予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)					
6	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎③		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
7	〃	講義：「ジロ・デ・イタリア」を知る。		予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(210分)					
8	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎④		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
9	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑤		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
10	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑥		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
11	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑦		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
12	〃	講義：「全日本ロード選手権」からロード種目を知る。		予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)					
13	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑧		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
14	〃	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑨		復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)					
15	〃	講義：「ツール・ド・フランス」を知る。		予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(210分)					

16	"	講義：今年の「全日本インカレ」を振り返る。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
17	"	講義：「東京オリンピック」の自転車競技を知る。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
18	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑩	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
19	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑪	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
20	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑫	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
21	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑬	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
22	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑭	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
23	"	講義：トレーニング計画の基礎を知る①	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
24	"	講義：トレーニング計画の基礎を知る②	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
25	"	講義：トレーニング計画の基礎を知る③	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
26	"	講義：アジア（韓国等）の自転車競技事情を知る。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
27	"	講義：競技規則の基礎を知る①	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
28	"	講義：競技規則の基礎を知る②	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(15分)
29	"	実技：自転車競技のトレーニング基礎⑮	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(15分)
30	"	講義：エピソード「4年生の発表を聞き、自転車競技のメジャー化を考える」	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(15分)

※昨年度の内容のシラバスです。(参考)

授業科目名 (ナンバリングコード)	競技スポーツ論・実習Ⅱ-自転車競技 (141A1-5281)	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)			
担当教員名	未 定			補助担当者名				
単位数	4 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	8名程度			
授業の概要	自転車競技に関する指導や普及の基本的な知識を会得し、競技に対する理解を深める。 自転車競技に関連する分野を網羅し体系的に学ぶことで、この授業を終えた時点で、競技力向上に必要な基本的行動を自分の力だけで行えるようになる と同時に、初心者（小学上級生レベル）や競技経験のない一般の方へ、正しい実技方法や表現方法をもってスムーズに指導や説明ができるよう、必要な 基礎的能力を身につける。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、指導者基礎力、コミュニケーション 力	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	各講義のテーマが自転車競技に及ぼす影響を 関連づけて理解し、受講生に向けて簡単な言 葉で正確に説明できる。	○	○	○	○		40
	■情意的領域	講義・実習（実技）ともに関心を持って意欲 的に学び、受講生同士で協力してテーマの探 求に取り組み、自転車競技の素晴らしさを簡 単な言葉で説明できる。	○	○				20
■技能的領域	実習（実技）で学んだことを自からの競技活 動に生かすと同時に、安全面と楽しさを重視 した内容のトレーニング方法を、受講生に向 けて言葉と実際の動きで正確に説明できる。	○	○				40	
成績評価の基準	授業の進行に伴い内容を理解したうえで、初歩的な競技者及び指導者として理解したことを生かせる能力が備わっているかを授業時間毎に確認 し評価する。実技については関連する課外活動（自転車競技）での競技成績も評価対象に加える。							
テキスト、教材 参考書	授業時間毎に必要なに応じて資料を配付する。 講義用にJ C F日本自転車競技連盟競技規則集を各自準備すること。 実技用に良く整備されたロードレーサー、トラックレーサー、J C F公認ヘルメット、シューズ等の競技用具一式を各自準備すること。							
履修条件・ 関連科目	前年度までに競技スポーツ論・実習Ⅰ-自転車競技を履修 し単位を修得するか、同等以上の知識及び技術を身につけ ていること。	備考(教員メッ セージ含む)	自転車競技の選手・スタッフとしての経験を有し、同競技 に深い興味を持ちながら将来も引き続き関わりたいと考 える学生を歓迎する。					
オフィス・アワー	毎週月曜日午後、604研究室							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	黒川 剛	講義：プロローグ「自らの経験を発表し自転車競技の素晴らしさを考える」	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポ ートを作成し授業で発表する。（30分）					
2	〃	実技：自転車競技のトレーニング①	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
3	〃	講義：競技力向上の会「他競技から学ぶ」	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（30分）					
4	〃	実技：自転車競技のトレーニング②	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
5	〃	講義：自転車競技の安全管理と救急処置を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポ ートを作成し授業で発表する。（30分）					
6	〃	実技：自転車競技のトレーニング③	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
7	〃	講義：今年の「ジロ・デ・イタリア」から戦術を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポ ートを作成し授業で発表する。（210分）					
8	〃	実技：自転車競技のトレーニング④	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
9	〃	実技：自転車競技のトレーニング⑤	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
10	〃	実技：自転車競技のトレーニング⑥	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
11	〃	実技：自転車競技のトレーニング⑦	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
12	〃	講義：今年の「全日本ロード選手権」から戦術を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポ ートを作成し授業で発表する。（30分）					
13	〃	実技：自転車競技のトレーニング⑧	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
14	〃	実技：自転車競技のトレーニング⑨	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出 する。（70分）					
15	〃	講義：今年の「ツール・ド・フランス」から戦術を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポ ートを作成し授業で発表する。（210分）					

16	"	講義：今年の「全日本インカレ」からトレーニングの成果を検証する。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
17	"	講義：「東京オリンピック」から自転車競技を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
18	"	実技：自転車競技のトレーニング㉔	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
19	"	実技：自転車競技のトレーニング㉕	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
20	"	実技：自転車競技のトレーニング㉖	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
21	"	実技：自転車競技のトレーニング㉗	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
22	"	実技：自転車競技のトレーニング㉘	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
23	"	講義：トレーニング計画の構成を学ぶ①	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
24	"	講義：トレーニング計画の構成を学ぶ②	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
25	"	講義：トレーニング計画の構成を学ぶ③	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
26	"	講義：アジア（韓国等）の自転車競技事情を学ぶ。	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
27	"	講義：競技規則を学ぶ①	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
28	"	講義：競技規則を学ぶ②	予習：授業内容について事前に調べ、簡単なレポートを作成し授業で発表する。(30分)
29	"	実技：自転車競技のトレーニング㉙	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(70分)
30	"	講義：エピソード「4年生の発表を聞き、自転車競技のメジャー化について考える」	復習：授業内容に関連してレポートを作成し提出する。(30分)

※昨年度の内容のシラバスです。(参考)

授業科目名 (ナンバリングコード)	競技スポーツ論・実習Ⅲ－自転車競技 (141B1-5280)	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)			
担当教員名	未 定			補助担当者名				
単位数	4 単位	履修年次	3年次	受け入れ人数	8名程度			
授業の概要	<p>自転車競技に関する指導や普及の知識を会得し、競技に対する理解を深める。 自転車競技に関連する分野を網羅し体系的に学ぶことで、第15回(前期履修)終了時点で、中級者(中学生及び高校1年生レベル)及び競技歴の少ない一般の方へ、正しい実技方法や表現方法をもってスムーズに指導や説明ができるよう、必要な能力を身につける。 この授業を終えた時点で、上級者(高校2年生～3年生)に同様の指導や説明ができ、さらには自らの競技力向上に必要なトレーニングプログラムの企画及び立案が単独で完成するよう、必要な能力を身につける。</p>							
授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力、指導者基礎力	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	各講義のテーマが自転車競技に及ぼす影響を網羅して理解し、中級レベルの学外者に向けて簡単な言葉で正確に説明できる。	○	○	○	○		40
■情意的領域	講義・実習(実技)ともに関心を持って意欲的に学び、独自でテーマの探求に取り組み、学外者に向けて自転車競技の素晴らしさを簡単な言葉で説明できる。	○	○				20	
■技能的領域	実習(実技)で学んだことを自からの競技活動に生かすと同時に、安全面を確保した上で成長段階に合わせたトレーニング方法を、中級レベルの学外者に向けて言葉と実際の動きで正確に説明できる。	○	○				40	
成績評価の基準	授業の進行に伴い内容を理解したうえで、競技者及び指導者として理解したことを生かせる能力が備わっているかを授業時間毎に確認し評価する。実技については関連する課外活動(自転車競技)での競技成績も評価対象に加える。							
テキスト、教材参考書	授業時間毎に必要なに応じて資料を配付する。 講義用にJ C F 日本自転車競技連盟競技規則集を各自準備すること。 実技用に良く整備されたロードレーサー、トラックレーサー、J C F 公認ヘルメット、シューズ等の競技用具一式を各自準備すること。							
履修条件・関連科目	前年度までに競技スポーツ論・実習Ⅱ－自転車競技を履修し単位を修得するか、同等以上の知識及び技術を身につけていること。	備考(教員メッセージ含む)	自転車競技の選手・スタッフとしての経験を有し、同競技に深い興味を持ちながら将来も引き続き関わりたいと考える学生を歓迎する。					
オフィス・アワー	毎週月曜日午後、604研究室							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	黒川 剛	講義：プロローグ「自らの経験を発表し自転車競技の素晴らしさを探求する」	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)					
2	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級①	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
3	〃	講義：競技力向上の会「他競技から学ぶ」	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(45分)					
4	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級②	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
5	〃	講義：自転車競技の安全管理と救急処置を詳しく学ぶ。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)					
6	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級③	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
7	〃	講義：今年の「ジロ・デ・イタリア」から戦術を探求する。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(210分)					
8	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級④	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
9	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級⑤	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
10	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級⑥	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
11	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級⑦	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
12	〃	講義：今年の「全日本ロード選手権」からロードの戦術を探求する。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)					
13	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級⑧	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					
14	〃	実技：自転車競技のトレーニング中級⑨	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)					

15	"	講義：今年の「ツール・ド・フランス」から戦術を探求する。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(210分)
16	"	講義：今年の「全日本インカレ」からトレーニングの成果を詳しく検証する。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
17	"	講義：「東京オリンピック」から自転車競技の戦術等を探求する。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
18	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑩	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
19	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑪	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
20	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑫	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
21	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑬	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
22	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑭	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
23	"	講義：トレーニング計画を探求し立案する①	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
24	"	講義：トレーニング計画を探求し立案する②	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
25	"	講義：トレーニング計画を探求し立案する③	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
26	"	講義：アジア（韓国等）の自転車競技事情を詳しく学ぶ。	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
27	"	講義：競技規則を詳しく学ぶ①	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
28	"	講義：競技規則を詳しく学ぶ②	予習：授業内容に沿って詳しくレポートを作成し、授業で発表する。(45分)
29	"	実技：自転車競技のトレーニング中級⑮	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
30	"	講義：エピソード「4年生の発表を聞き、自転車競技のメジャー化について深く考察する」	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(45分)

※昨年度の内容のシラバスです。(参考)

授業科目名 (ナンバリングコード)	競技スポーツ論・実習Ⅳ－自転車競技 (141C1-5280)	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)				
担当教員名	未 定			補助担当者名					
単位数	4 単位	履修年次	4年次	受け入れ人数	8名程度				
授業の概要	自転車競技に関する指導や普及の知識を高いレベルで習得し、現場に於いて単独で指導できる能力を養う。 自転車競技に関連する分野を網羅し体系的に学び、自ら企画・立案したうえで、上級者（高い競技経験を持つ大学生及びプロ選手等）の方へ、正しい実技方法や表現方法をもってスムーズに指導や説明ができ、高レベルの指導者として認知される為に必要な能力を身につける。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技指導力、事業運営力、指導者基礎力	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	各講義のテーマが自転車競技に及ぼす影響を網羅して理解し、自ら企画・立案した上で、上級レベルの学外者に向けて簡単な言葉で正確に説明できる。	○	○	○	○			40
	■情意的領域	講義・実習（実技）ともに関心を持って意欲的に学び、独自でテーマの探求に取り組み、自転車競技に詳しい学外者に向けてこの競技の素晴らしさを簡単な言葉で説明できる。	○	○					20
■技能的領域	実習（実技）で学んだことを自らの競技活動に生かすと同時に、安全面を確保しながら日本代表レベルのトレーニング方法を、上級者に向けて言葉と実際の動きで正確に説明できる。	○	○					40	
成績評価の基準	授業の進行に伴い内容を理解したうえで、競技者及び指導者として理解し、上級者に向けて自ら企画・立案できる能力が備わっているかを授業時間毎に確認し評価する。実技については関連する課外活動（自転車競技）での競技成績も評価対象に加える。								
テキスト、教材 参 考 書	授業時間毎に必要なに応じて資料を配付する。 講義用にJ C F 日本自転車競技連盟競技規則集を各自準備すること。 実技用に良く整備されたロードレーサー、トラックレーサー、J C F 公認ヘルメット、シューズ等の競技用具一式を各自準備すること。								
履修条件・ 関連科目	前年度までに競技スポーツ論・実習Ⅲ－自転車競技及び関連する学外実習を履修し単位を修得すること。	備考(教員メッセージ含む)	高いレベルで自転車競技の選手・スタッフとしての経験を有し、同競技に深い興味を持ちながら将来も引き続き関わりたいと考える学生を歓迎する。						
オフィス・アワー	毎週月曜日午後、604研究室								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	黒川 剛	講義：プロローグ「自らの経験を発表し自転車競技の素晴らしさを探求し解説する」	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。（60分）						
2	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級①	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
3	〃	講義：競技力向上の会「他種目から学ぶ」	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（60分）						
4	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級②	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
5	〃	講義：自転車競技の安全管理と救急処置を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。（60分）						
6	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級③	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
7	〃	講義：今年の「ジロ・デ・イタリア」から戦術を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。（210分）						
8	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級④	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
9	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級⑤	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
10	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級⑥	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
11	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級⑦	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
12	〃	講義：今年の「全日本ロード選手権」からロードレースの戦術を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。（60分）						
13	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級⑧	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						
14	〃	実技：自転車競技のトレーニング上級⑨	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。（70分）						

15	"	講義：今年の「ツール・ド・フランス」から戦術を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(210分)
16	"	講義：今年の「全日本インカレ」からトレーニングの成果を詳しく検証し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
17	"	講義：「東京オリンピック」から自転車競技の戦術を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
18	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑩	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
19	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑪	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
20	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑫	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
21	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑬	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
22	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑭	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
23	"	講義：トレーニング計画を探求し立案したうえで解説する①	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
24	"	講義：トレーニング計画を探求し立案したうえで解説する②	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
25	"	講義：トレーニング計画を探求し立案したうえで解説する③	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
26	"	講義：アジア（韓国等）の自転車競技事情を探求し解説する。	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
27	"	講義：競技規則を探求し理解したうえで解説する①	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
28	"	講義：競技規則を探求し理解したうえで解説する②	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(60分)
29	"	実技：自転車競技のトレーニング上級⑮	復習：授業内容に関連して詳しくレポートを作成し提出する。(70分)
30	"	講義：エピソード「4年間で学んだことを発表し、自転車競技のメジャー化について具体策を提案する」	予習：授業内容に沿って企画し立案した資料を作成し、授業で解説する。(240分)

※昨年度の内容のシラバスです。(参考)